

すまいるたん



発行元
東京新聞
南千住専売店
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

サンタさん募集中！
震災被災地釜石へ
ボールのプレゼントを！

「復興はまだまだです」

東日本大震災で被災した岩手県釜石市は、荒川区の友交流都市です。釜石市の人口は南千住地区より少ない約三万人七千人余りです。震災が引き起こした三階まで押し寄せた巨大な津波は、釜石市に全壊家屋約三千棟、半壊家屋約七百棟、千人を超える死者、行方不明者を出す大きな被害をもたらしました。東日本大震災から六年が過ぎ、釜石市では復興公営住宅、仮設住宅の整備など、ハード面の有形なもの復興は進んできています。しかし、まだまだ届かない部分も多くあります。復興住宅で高齢者が孤立したり、日々の暮らしの中で新たな課題も出てきています。しかし、まだまだ届かない部分も多くあります。復興住宅で高齢者が孤立したり、日々の暮らしの中で新たな課題も出てきています。

「子どもたちが思い切り走ったりすることができるようになりたい」

荒川区社会福祉協議会では荒川区と友好交流都市である岩手県釜石市に支

援物資や義援金を送っています。

震災から四年後の平成二十七年に荒川区社会福祉協議会が立ち上げた「土芝応援プロジェクト」では皆さんの募金や寄付が目標額を大きく上回る二百八万円となりました。

この支援金で、

津波で被災し石が出でしまう危険な状態だった釜石市の唐丹小の跡地がグラウンドに使用できるよう土盛され芝生が植えられました。

「三百個の公式ボールを贈ろう」

釜石の少年野球チームは八チームあります。軟式野球のボールが十三年ぶりに変更されました。釜石の少年野球チームもすべての試合球を変更しなければなりません。少年野球チームは地域の方たちに支えられており、一個約六百円のボール代が大きな負担となっております。

「十四万九百十九円の募金がありました」

これは十二月五日に開催された釜石市の少年野球チームにボールを贈るためのコンサートでの寄付金です。



整備進められたグラウンドを走る野球少年
2014年、岩手県釜石市にて

クリスマスはもうすぐです。目標額の十八万円にあと少しです。

募金箱は、イトーヨーカードーの前の荒川区社会福祉協議会三階に設置してあります。

贈ることにより心の喜びが得られます。ひたむきに走る子どもたちに、サンタさんとなってプレゼントの募金をしてみませんか。

募金受付中

荒川区社会福祉協議会 3階
荒川ボランティアセンター
午前8時30分～午後5時15分
休業日：土曜日（部署による）、日曜日祝日、
年末年始（12/29～1/3）
荒川区南千住1-13-20（イトーヨーカードー前）
電話03（3802）3338 FAX03（3802）3831
E-mail：vorasen@arakawa-shakyo.or.jp

